

◆主題名	働くことの意義
------	---------

内容項目	C (13)	勤労
価値項目	① 2・3・4	勤労の尊さや意義を理解する
教材名・出典	役に立つことができるかな	
本時のねらい	さまざまな職業の意義を理解し、職業に就いたときに社会に貢献しようとする態度を育てる。	

中心となる発問を主題につなげるために必要な発問

導入	人は何のために仕事をするのだろう？
①	消防士は「カッコいい」というだけでできる仕事ではないのはなぜ？
②	電車に乗り合わせた男の子の言動と、若い人の言動をどう思う？
③	先生になるための勉強をしている姉の話聞いて、「僕」はどんな気持ちになった？

◆テーマ (中心となる発問)	人は何のために仕事をするのだろう？
-------------------	-------------------

ねらいとする価値に迫るために・・・

◆学び合う 活動のねらい	変容をねらう 多様さに気づかせる	考えを深めたり広げたりする
-----------------	------------------	---------------

学び合う活動のスタイル

I Pw	2 Gw	③ Fw	4 Cw	5その他( )
------	------	------	------	---------

◆最後の振り返り	この時間を通しての「本音」が聞けるように！
----------	-----------------------

授業後の反省

- 「職業調べ」の最中だったので、この教材をこの時期に選んだ。
- 電車に乗り合わせた男の子が障害を持っていることに、生徒も気づいたかどうかを確認することで、お姉さんがめざす「教師」のやりがい等に近づくことができる。